

クーバー・コーチング・ジャパン、 ヨガカウンセリングを行うCGM社と業務提携

サッカーとヨガを組み合わせた、新トレーニングプログラム開発！
サッカー選手向け、ビジネスマン向け、ママ向け、シニア向け等、
受講者に合わせて開発予定

幼児・小中学生を対象としたサッカースクールを運営する株式会社クーバー・コーチング・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：石橋 慎二）は、ヨガカウンセリングを行う株式会社CGM（本社：東京都新宿区、代表取締役：北出谷慎一郎）と業務提携いたしました。

ヨガは世界で活躍する一流のプロサッカー選手をはじめ、競技を問わずトップアスリートに幅広く採用されています。クーバー・コーチング・ジャパンでは、ヨガがサッカー選手のパフォーマンスの更なる向上を手助けるだけでなく、生活者の心身の健康増進にも役立つ点や世界のトップアスリートもヨガを実践している点に着目し、サッカースクール受講者向けにサッカーのパフォーマンスを向上させる「サッカー×ヨガ」を新メニューとして提供いたします。その他にも、ママ向けのリラクゼーションメニュー、ビジネスマン向け集中力アップメニューやシニア向けの健康増進メニュー等、受講者に合わせたプログラムを今後開発していく予定です。

ヨガを取り入れた新メニューは、株式会社CGMのゴーシュ・オングシュマン氏の五千年の歴史があるインドヨガを生かし、オリジナルメニューとして共同で開発します。



ゴーシュ・オングシュマン

1900年初頭、アメリカ、西欧諸国に初めてヨガを紹介したインドヨガの聖人ヨガナンダ氏の末裔。

日本では両親が1973年に日本ゴーシュ・ヨガ道場を設立し、現在も外務省・法務省・検察庁などの官庁で福利厚生の一環としてヨガを公式に提供しています。五千年の歴史があるインド流のヨガを体験すると、いままでの固定概念を覆されること間違いありません。

クーバー・コーチング・ジャパンは、日本のサッカーの発展と成功に貢献できるよう、今後も取り組んでまいります。

【参考情報】

■クーバー・コーチングとは

世界各国のサッカー連盟や協会、クラブチームなどから高く評価されているサッカー・テクニク指導法（メソッド）。現在、世界30数カ国・地域で、この指導法をもとにスクールやキャンプなどさまざまな活動が展開されています。オランダの偉大なコーチ、ウィール・クーバー（元フェイエノールト監督）が1970年代に開発。スター・プレーヤーたちの動きをビデオで分析し、かれらの技術を「分解」、段階に分けて教えることで、より攻撃的な選手育成につながることを初めて見出しました。1984年、アルフレッド・ガルスティアン（元ウィンブルドンFC選手）とチャーリー・クック（元スコットランド代表）が、この考えをカリキュラムにまとめ、スクールのネットワークや教材を通して、世界でも信頼される指導法となりました。

◆本部： ロンドン・東京、

◆ホームページ（英語）：<http://www.coerver.co.jp/english-top/>

■(株)クーバー・コーチング・ジャパンとは

クーバー・コーチングのメソッドをもとに、日本国内140カ所（2016年11月現在）でサッカースクールを展開し、十分にトレーニングを積んだプロのコーチ陣が、幼稚園から中学生まで約20,000人の子どもたちを指導しています。クーバーのスクールでは、学校や地域のクラブやチームなどとは異なり、「チーム」ではなく、「個人」のサッカー技術や運動能力、コミュニケーション能力などを高めることが目的です。各地から個人単位で参加する夏季・春季の「サッカーキャンプ」（合宿）も運営しています。また、プロのサッカー・コーチを養成する「クーバー・アカデミー・オブ・コーチング」も運営。優秀なプレーヤーと指導者を輩出することで、日本サッカー界の発展の一翼を担っています。

◆代表取締役社長： 石橋慎二（元・全日空横浜サッカークラブ主将）

◆本社所在地： 東京都港区南青山6丁目1番3号 コレツツィオーネ302

電話： 03-3407-2605 FAX： 03-3407-6317

◆ホームページ：<http://www.coerver.co.jp/>

